

令和元年度 東京都女性活躍推進大賞 受賞者

大賞

団体の人数は正社員数、教職員・研究者数、職員数（うち女性）

	団体・個人名	取組概要・効果
産業分野	大塚製薬株式会社 <医療関連・健康増進関連> 5,257名(1,240名)	【ダイバーシティ推進に継続的に取り組み、男女ともに働きやすい職場を実現】 ○結婚、育児、介護等各ライフステージごとに就業継続を支援する制度を設け、男女ともに働きやすい職場を実現 ○MR（医薬情報提供者）・営業職女性の育児・働き方等について情報共有の場を提供（出産後も継続して働く女性MR数：3名（2007年）⇒54名（2018年）） ○部下を持つ管理職全員を対象としたイクボスセミナー等の実施により男性社員の育休取得を組織的に推進（男性の育休取得率：3.7%（2016年）⇒25.8%（2018年））
医療・福祉分野	社会福祉法人 松栄福祉会 <保育園2園、カフェ運営> 83名（77名）	【保育士のスキルアップ支援とカフェ運営による保育の枠を超えた地域貢献】 ○保育の質を重要視し、外部研修の受講を積極推進。柔軟な人員体制により、男女ともに働きやすい職場環境を実現 ○小作駅前カフェを運営し、保育の枠を超え地域の活性化に貢献するとともに、保育以外での経験を通じ職員の成長に寄与 ○父親講座の開催により、男性の育児参画を推進
教育分野	学校法人 昭和女子大学 <2020年に創立100周年となる女子大学> 665名（396名）	【様々なライフステージにおける女性の活躍、ダイバーシティ推進に貢献】 ○14学科中9学科で女性が学科長を務めるなど、意思決定に広く関与 ○社会人と学生が対話できる社会人メンター制度を創設し、学生のキャリアデザインを支援 ○女性の生涯にわたるキャリアを継続的に支援する昭和女子大学キャリアカレッジを開設、女性活躍推進及び働き方改革推進のためのプラットフォームとして機能

団体の人数は正社員数、教職員・研究者数、職員数（うち女性）

地域部門	<p>成城学校避難所運営管理協議会 並びに成城避難所女子会 <一次避難所に指定された私立男子校における避難所の運営></p> <p>70名（30名）</p>	<p>【私立男子校の避難所運営に女性が参画することにより、地域の防災力強化と地域コミュニティ活性化に貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時一次避難所の運営に女性の視点を取り入れるため、地域の女性を主体とした女子会を立ち上げ地域の防災力を強化 ○女子会設立により参加者の敷居が下がり、防災啓発コンクールや防災イベント開催等地域コミュニティの活性化にも寄与 ○女性達の意見が地域の防災の取組に反映されることで地域の担い手としての自信・主体性を創出
	<p>非営利型株式会社 Polaris <多様な働き方の提案により地域の女性を支援></p> <p>5名（5名）</p>	<p>【地域の女性が多様な働き方を実現するための仕組みづくりにより、女性が活躍する場の創出と地域の活性化に寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出産を契機に離職した女性が働きやすいワークシェアによる働き方をコーディネート、仕事を通じ社会とつながる機会を提供 ○地域情報提供サービスの担い手として地域に詳しい子育て中の女性が活躍。地域女性の活躍の場と地域への愛着を深める機会を創出 ○コワーキングスペースや女性のインキュベーション事業展開等、企業・行政とも協働し、多様な働き方で街を活性化

優 秀 賞

		団体・個人名	取組概要・効果
事業者部門	産業分野	<p>立花建設株式会社 <建設業></p> <p>45名（10名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○女性が少ない建設業界において、女性が活躍できる職場環境整備や育休・時短勤務等の制度を充実（女性管理職25%） ○女性の安全衛生チームが現場の安全パトロールを実施、現場改善と現場知識の浅い女性事務員の知識向上に寄与
		<p>TRI PORT 株式会社 <経営・労務コンサル等></p> <p>24名（17名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○完全リモートワークの導入により、育児等で毎日同じ時間に出社することが難しい女性等も積極採用 ○性別、勤続年数、勤務時間を問わず能力に応じた登用を実現（女性管理職4名（50%）、うち短時間正社員3名）

団体の人数は正社員数、教職員・研究者数、職員数（うち女性）

事業者部門	医療・福祉分野	社会福祉法人 にじの会 <障害者福祉施設7 施設運営> 148名（70名）	<ul style="list-style-type: none"> ○人事制度プロジェクトを立上げ組織的にライフ・ワーク・バランスを推進 ○職種ごとに明確な職能に基づく基準を設定し、主体的にキャリアアップが実現できる仕組みを構築 ○同性介助を原則とし、女性が安心して働ける環境を実現
地域部門		一般社団法人 ひきこもりUX会議 <ひきこもりの支援活動> 5名（3名）	<ul style="list-style-type: none"> ○対人関係の難しさ、生きづらさを抱える女性や孤立感を感じている子育て中の女性等に当事者同士で話し合う場を創出 ○女性のひきこもりの実態調査を行い、社会に問題提起 ○自治体や各地域の支援団体と連携し、支援の輪を拡大

特別賞

		団体名	取組概要・効果
事業者部門	医療・福祉分野	社会福祉法人 げんき <障害者福祉施設5 施設運営> 41名（31名）	<ul style="list-style-type: none"> ○短時間職員制度の創設により育児など個別の事情を持つ職員が働きやすい環境を整備 ○勤務日数・勤務時間等を柔軟に設定し、女性だけでなく障害のある職員や高齢職員などの多様な受け入れを推進

※特別賞…他の団体等への好事例となる点が見受けられ、かつ今後一層の成果が期待される取組を行う団体（又は個人）に贈呈。